

案件化とは？

● 案件化の定義



- 案件化とは“譲渡企業の実態把握”をいい、“企業概要書”、“企業評価書”“ノンネーム”の3つの成果物よりなる。
- 把握すべき実態は、“事業内容、財務内容、組織体系”である。

案件化の重要性

● 案件化はM&Aの最重要プロセス

① ふさわしい相手への適切なマッチング

譲渡企業の内容把握がなされていないならば適切なマッチングができない

② 適性な企業価値に対する目安

譲渡時の適正な価格がわからなければ、交渉をすすめることが困難

③ 売り買い双方における正しい情報共有

正しい情報共有でデューデリジェンスにおける案件ブレイクの可能性は遙かに低くなる

企業概要書とは？

● 企業概要書の定義

“企業概要書”とは譲渡企業の内容を30～40ページほどに要約した案内書で、買手がM&Aの検討を進めるかどうかを決定する際参考とするものである。

● 企業概要書の4大要素

ビジネスモデル

… 事業内容、製品、強み、弱み、業界での位置づけ など

人事内容(ヒト)

… 株主、組織、キーマン、給与体系、退職金 など

設備内容(モノ)

… 不動産、事業所、工場、機械設備内容、老朽度合い、利便性 など

財務内容(カネ)

… 売上、損益、貸借、借入状況、簿外の資産・負債の存在 など

企業概要書の作成にあたって

● 作成の基本

- 企業概要書は買手の検討の為のものであり、買手の立場から見て知りたいであろうこと、必要なこと、を記載するよう心がける
- 事前に十分ビジネスモデルを理解し作成しなければならない。その為には詳細なマネジメントインタビューが必須である。
- 買手の視点からヒアリングをし、系統的に纏める
- 企業概要書はあくまでサマリーであり、記載する情報は取捨選択しなければならない。その観点は“買手が検討にあたって必要とする情報であるか”である。
- 可能な限り写真、図、グラフなどを用い、視覚的に理解しやすいものを作成する
- 企業概要書は譲渡企業を紹介する唯一無二の資料である。その魅力をあますことなく相手に伝えられなければ意味がない。
DD報告書、企業分析レポートのように考えてはならない。

企業概要書の構成(1)

● 一般的な企業概要書の記載事項

● ディスクレームー文言

● エグゼクティブサマリー

- ☆ ビジネスモデル … 特徴、製品、ワークフローなど一目で理解できるもの
- ☆ 企業概要 … 会社名、所在地、従業員など一般的な企業情報の要約
- ☆ 財務ハイライト … 売上、損益、純資産など貸借、損益の要約
- ☆ キーマン … 代表者、株主、役員などステークホルダーの要約
- ☆ その他 … M&Aの理由 条件 等

● 会社概要

- ☆ 主に“ヒト”の観点から会社の概要を詳述する

● 事業概要

- ☆ 主に“ビジネスモデル”、“モノ”の観点から会社の概要を詳述する

● 財務状況

- ☆ 3期間の貸借対照表、損益計算書その他、重要な財務上の要点を詳述する

一般的な企業概要書の構成例

● エグゼクティブサマリー

- 会社概要
- 事業概要
- 財務ハイライト

まず全体像をわかりやすく纏める

● 会社概要

- 代表者プロフィール
- 会社沿革
- 株主の状況
- 組織図
- 役員・キーマンの状況
- 従業員の状況
- 従業員保有資格一覧

● 事業概要

- 主要製品
- 主要得意先
- 主要仕入先
- 主要外注先
- 部門別損益

セグメント情報は企業把握の上で非常に重要な情報

- 営業フロー
- 製造フロー

ワークフローはビジネスモデル理解に繋がる

- 主要拠点
- 工場概要
- 主要設備一覧
- 工場配置図

● 財務の状況

- 比較損益(PL、COST、SGA、営業外)
- 直近貸借対照表
- 借入金明細

3期比較などトレンドを明確に わかりやすく

企業概要書の構成(2)

- 企業概要書にあるとよいと思われる内容
 - 将来の経営計画
 - マーケット分析、競合他社の状況などの業界情報
 - 譲渡企業の強み、弱みなどの分析(SWOT分析 など)
 - 譲渡企業との考えられるシナジー効果とその対象
 - 譲渡条件とその根拠

事前のマネジメントインタビューの質が概要書の質を決める

インタビュー内容からの落とし込み(1)

目次	<p>概要書に記載した内容のタイトルとそのページ番号 ディスクレーマー文言</p> <p>ディスクレーマー文言 (文例) :</p> <p>＜重要な留意事項＞</p> <p>①本書は、貴社による買収検討資料としてのみ利用されることを目的に作成したものであり、当社の事前の同意なしに他の目的に使用すること、または第三者に公表することはできません。また、その目的外使用から生じた如何なる事項に関しても、当社は一切の責任を負いません。</p> <p>②本書は、弊社が当社より提供された資料に基づいて作成しております。弊社は提供を受けた資料の真実性、正確性、妥当性について保証するものではありません。貴社が本件の意思決定するために必要な全ての情報を網羅しているものではありません。また、本資料中、将来予測及び見込み等が含まれる場合については、その実現可能性について弊社は何ら責任を負うものではありません。</p> <p>③本書には、重要な内部情報が含まれておりますので、取り扱いには充分ご留意いただきますようお願い申し上げます。</p>
会社概要	会社名、本店の所在地、事業の内容、設立年月日、決算月、代表者、資本金、発行済株式数、営業の状況・商圈、所属業界団体、メインバンク、子会社、関連会社
グループ関連図 (グループ会社がある場合)	関連図
代表者のプロフィール	前職、このビジネスを始めた経緯、経営理念、譲渡理由、譲渡希望形態
株主名簿	氏名又は名称、社長との関係、所有株式数、所有割合、株式の譲渡制限の有無
会社の沿革	時系列表
組織図	今期のみ
役員・部門長の状況	役員及び職名、社長との関係 (親族 or 第三者) 及びM&A後の処遇 (退社 or 継続雇用等)、氏名、略歴
役員退職慰労金の支給状況	役員の退職慰労金規程の有無
生命保険への加入状況	回答事項がなければ「ヒアリングを実施したが加入無しとの回答を得た」と記載。あれば、被保険者、実際の受取人、現在の解約返戻金残高
従業員の状況	区分、従業員数、平均年齢、平均勤続年数、平均給与月額
従業員賞与の支給状況	支給金額 (直近期支給実績額 (夏季)、直近期支給実績額 (冬季)、今期支給実績額 (夏季)、今期支給見込額 (冬季))
従業員の異動状況	(今期) の区分、入社数、退社数 (前期) の区分、入社数、退社数 (今期) の区分、入社数、退社数

インタビュー内容からの落とし込み(2)

労働組合の状況	労働組合の有無
従業員退職金の支給状況	従業員の退職金規程の有無、利用制度等、運用機関等
社会保険の状況	社会保険の加入の有無、厚生年金基金の加入の有無、労働保険の加入の有無
会社保証の状況	回答事項がなければ「ヒアリングを実施したが該当事項無しとの回答を得た」と記載。あれば保証内容・保証の対象、被保証人、保証金額、担保提供物（有・無）
顧問一覧	内容、資格、名称、関与年数
業界情報、将来ビジョン、顧客開拓	回答や記載事項があればその内容
営業循環（受注～代金回収）のフローチャート	フローチャート
製造工程のフローチャート	製造業の場合
主要製品・サービス内容	製品・サービス種類・（事業）別売上、売上高、年間売上高に占める割合
主要得意先	得意先名、取引内容、年間売上高、年間売上高に占める割合
主要仕入先	仕入先名、取引内容、年間仕入高、年間仕入高に占める割合
長期借入金明細表、短期借入金明細表	借入先、直近残高
事業計画	作成していない場合は「ヒアリングを実施したが作成していないとの回答を得た」と記載。あれば今後三期の売上高、売上原価、売上総利益、販売費及び一般管理費、営業利益、経常損益
重要な設備の新設・改修計画	回答事項がなければ「ヒアリングを実施したが該当事項無しとの回答を得た」と記載。今後三期の設備の新設・改修の内容、投資額
環境問題	回答事項がなければ「ヒアリングを実施したが該当事項無しとの回答を得た」と記載。あればその内容を記載する。
品質管理と製品不良	回答事項がなければ「ヒアリングを実施したが該当事項無しとの回答を得た」と記載。あればその内容を記載する。
訴訟事件	回答事項がなければ「ヒアリングを実施したが該当事項無しとの回答を得た」と記載。あればその内容を記載する。
税務リスク	回答事項がなければ「ヒアリングを実施したが該当事項無しとの回答を得た」と記載。あればその内容を記載する。
今後の事業に影響を与える重要事項に関する確認（後発事象等）	回答事項がなければ「ヒアリングを実施したが該当事項無しとの回答を得た」と記載。あれば日付、内容、理由・背景等を記載する。
三期比較	三期のBS、PL、株主資本等変動計算書

概要書の作成 ①エグゼクティブサマリー

企業概要書 ～金属加工業～

2010年11月30日
株式会社日本M&Aセンター

はじめに

- 留意事項
 - ▶ 本書は、貴社による買収検討資料としてのみ利用されることを目的に作成したものであり、弊社の事前の同意なしに他の目的に使用すること、または第三者に公表することはできません。また、その目的の範囲から生じた如何なる事項に關しても、弊社は一切の責任を負いません。
 - ▶ 本書は、弊社が対象企業より提供された資料に基づいて作成しております。弊社は提供を受けた資料の真実性、正確性、妥当性について保証するものではありません。貴社が本件の意思決定するために必要な全ての情報を網羅しているものではありません。また、本資料中、将来予測及び見込み等が含まれる場合については、その実現可能性について弊社は何ら責任を負うものではありません。
 - ▶ 本書には、重要な内部情報が含まれておりますので、取り扱いには充分ご留意いただきますようお願い申し上げます。
- 本資料に関する問い合わせ先
 - ▶ 株式会社日本M&Aセンター
 - ▶ 本社：東京都千代田区丸の内1-8-3丸の内トラストタワー本館19階
 - ▶ 大阪支社：大阪府大阪市北区梅田2丁目4番9号ブリーゼタワー11階

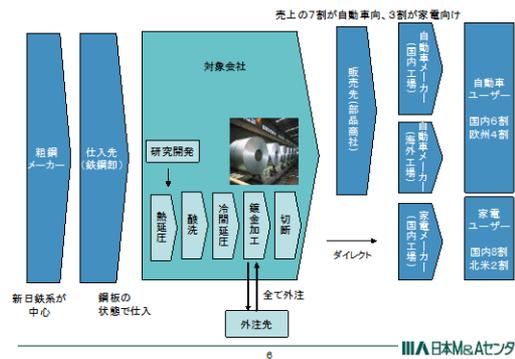
所属	氏名	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス
大阪支社金融担当課長				
大阪支社専業法人部				

目次

- エグゼクティブサマリー
 - ▶ 会社概要
 - ▶ 事業概要
 - ▶ 財務ハイライト
- 会社概要
 - ▶ 代表者プロフィール
 - ▶ 会社沿革
 - ▶ 株主の状況
 - ▶ 組織図
 - ▶ 役員・キーマンの状況
 - ▶ 従業員数の状況
 - ▶ 従業員給与実態一覧
- 事業概要
 - ▶ 主要製品
 - ▶ 主要得意先
 - ▶ 主要仕入先
 - ▶ 主要外注先
 - ▶ 主要別当利益
 - ▶ 営業フロー
 - ▶ 製造フロー
 - ▶ 主要設備
 - ▶ 工場概要
 - ▶ 主要設備一覧
 - ▶ 工場配置図
- 財務の状況
 - ▶ 比較損益(PL、COST、SGA、営業外)
 - ▶ 重要資産対照表
 - ▶ 借入金明細

エグゼクティブサマリー

事業概要



会社概要

商号	株式会社ABC
本店所在地	東京都千代田区千代田1-1-1
事業内容	金属加工および販売
主要販売先	トヨタ自動車、日産自動車
主要仕入先	新日本製鐵、神戸製鐵
創業・会社設立	昭和48年個人事業として創業 昭和63年法人に改組
資本金額	売上高1,234,567千円(平成22年3月期)
従業員数	40名(他パート20名)
代表者名	田中大郎(67歳)
株主	田中大郎80% 田中次郎20%
取引銀行	三井住友銀行
特記事項	業界シェア2位



財務ハイライト

	主要損益経緯 (単位:千円)			最近負債対照表(22年3月31日現在)	
	20年3月期	21年3月期	22年3月期	(単位:千円)	
売上高	1,000,000	1,111,111	1,234,567	短期全	250,000
営業利益A	50,000	60,000	70,000	売上債権	200,000
経常利益B	45,000	65,000	70,000	棚卸資産	250,000
当期利益	20,000	30,000	40,000	投資有価証券	390,000
役員報酬E	40,000	42,000	50,000	土地	350,000
営業利益C	100,000	122,000	130,000	投資有価証券	120,000
営業利益D	145,000	153,000	180,000	現金・預金	57,000
営業利益E	35	38	40	固定負債	57,000
				負債合計	900,000
				現金・預金	123,000
				その他	707,000
				負債合計	1,907,000
				負債・資本合計	1,907,000